

魅力だより

◆最上教育事務所「魅力ある学校づくり調査研究事業」通信第9号
 ◆令和2年11月9日（月）
 ◆最上教育事務所 指導課

「魅力ある学校づくり調査研究事業」に係る「各学校の実践紹介#5」

最上町立最上中学校の実践

- 【目標】 「ア 学校が楽しい」の項目について、「当てはまる」の割合を増やす。
- 【活動名】 クラス経営でつくる「魅力ある学校」～生徒を繋ぐ～
- 【ねらい】 生徒一人一人を繋ぎ、生徒にとって安心できて自己存在感や充実感を感じられるクラスとすることで、「学校が楽しい」と感じる生徒の割合を増やすこと。

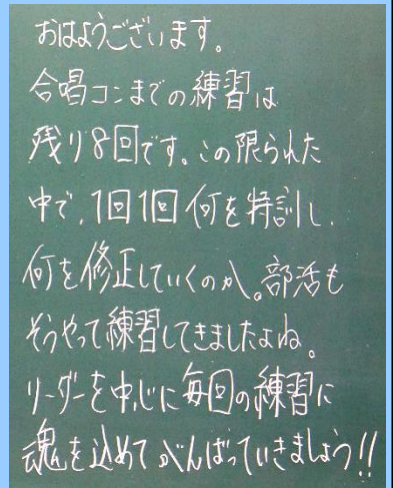
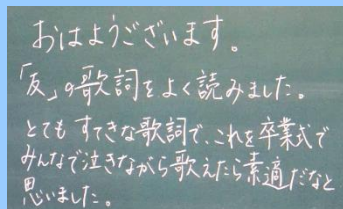
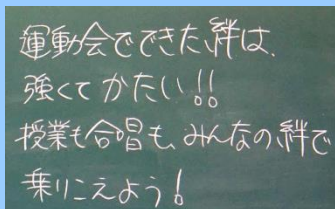


【内容1】 「黒板メッセージ」

毎朝、担任の黒板メッセージで生徒を出迎える「居場所づくり」の取組を実践している。

最上中学校の伝統として、継続して行っているものであり、行事に向かう気持ちや姿勢、日々の生徒の良かった姿やクイズを行う等、各担任が個性的なメッセージを送っている。

板書の内容が朝の会の話題につながる等、毎朝のメッセージの一つ一つが生徒の登校時のやる気アップを促している。



【内容2】 「生徒の誕生日に贈るほめ言葉」

誕生日の生徒にクラスの仲間と保護者の方からの「ほめ言葉」を学級だよりに掲載することで、「居場所づくり」に繋がっている。クラス全員からメッセージをもらうことで、生徒の多様な良さを見ることができたり、生徒自身も自分が今まで気づかなかった長所を知ることができたりします。保護者の方からも「普段知ることのできない子供の一面を見ることができた」と好評をいただいています。



最上中の実践から学ぶ

全ての生徒が安心して生活できる「居場所づくり」の大切さ